



「with コロナの時代を支える社会貢献セミナー」 開催要項



社会福祉法人 中央共同募金会

◆趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、日本各地でさまざまな社会課題が顕在化しています。未曾有のコロナ禍にあって、企業においては新たな働き方を模索すると同時に、「国連の持続可能な開発目標(SDGs)」の浸透や、多様なステークホルダーからの要求、社員エンゲージメント（自社への信頼や愛着）を重要視する動向とも相まって、さらなる社会貢献が望まれています。

一方、中央共同募金会は、他団体に先駆けて、3月4日より臨時休校中の緊急支援活動への募金と助成を行い、5月からは全国の共同募金会とも連携して、コロナ感染下での福祉活動を応援する募金と助成を展開してきました。こうした支援プログラムに、国内外の企業を中心として多くのご寄付をいただき、コロナ支援への関心の高さが示されています。

この機会に、広く皆様からご支援いただいた本助成プログラムの中間報告を行うと共に、コロナ渦における社会課題の実情を活動団体の事例から汲み取り、どのような支援活動が必要とされているか、また、企業においてはどのような社会貢献が実践され今後必要とされるか、「with コロナの時代を支える社会貢献活動」について、企業、活動団体、助成団体、それぞれの立場から共に考え、今後の実践につなげます。

◆日 時 2020年12月21日(月) 15時～17時15分

◆参加方法 オンライン (zoom ウェビナー)

◆参加費 無料 (通信費等は各自のご負担となります)

◆主な対象 企業の社会貢献担当者、従業員寄付者、個人寄付者、NPO等活動団体、助成団体、中間支援団体、その他社会貢献に関心のある方

◆定 員 オンライン 500名 (先着申込順)

◆主 催 社会福祉法人 中央共同募金会

◆Web 参加申込 <https://tayori.com/f/akaihane>

上記サイトから申込みない場合は、

①氏名②企業・団体名③部署④メールアドレス⑤電話番号をご記入の上、
件名「12/21 社会貢献セミナーWeb 参加希望」として、
kikin@c.akaihane.or.jp まで メールでお知らせください。



◆プログラム（予定）

15：00～ 1.主催者挨拶（中央共同募金会）

15：05～ 2.助成事業に見るコロナ禍での緊急支援活動（報告）（15分）

赤い羽根の新型コロナ感染下での緊急支援助成プログラムについて（中間報告）

【報告】社会福祉法人中央共同募金会

15：20～ 3.基調講演（40分）

【テーマ】コロナ禍から見る社会的課題と、社会の一員として求められること

【講師】神野直彦氏（日本社会事業大学学長／東京大学名誉教授）

（プロフィール）1946年埼玉県生まれ。1981年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。
大阪市立大学助教授、東京大学教授、関西学院大学教授などを経て現職。専攻は財政学。

“コロナ禍から見る社会的課題と、私たち市民（個人、企業市民）が社会の一員として
求められていることは何か”について、お話しいただきます。

16：00～ 4. パネル・ディスカッション（事例報告、質疑応答含む）（1時間15分）

【テーマ】「with コロナの時代を支える社会貢献について」

感染症拡大の経過に伴い、社会課題も変容し、支援ニーズも変化しています。

基調講演をふまえながら、「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」助成の活動団体、企業で社会貢献を担当されている方々と共に、「with コロナの時代を支える社会貢献」について考え、今後の実践へつなげます。

【コーディネーター】

長澤恵美子氏（一般社団法人日本経済団体連合会 SDGs 本部統括主幹）

【パネリスト】（順不同）

<企業の社会貢献事例 2社>

コロナ禍での社会貢献に関して、成果をあげた工夫や、多様なアイデア実現の経緯等について伺います。

・阿部孝宏氏（三菱電機株式会社 総務部 社会貢献推進課）

法人寄付、自社製品の無償提供、医療用マスクやフェイスガードの寄付など様々な支援を実施。中でも、「従業員募金+法人マッチング寄付」のさきがけとして28年にわたり実施されてきた三菱電機 SOCIO-ROOTS 基金では、総額1千万円以上の募金が寄せられました。

・濱田尚氏（日本たばこ産業株式会社 サステナビリティマネジメント部）

コロナ禍で居場所を失った人たちへの支援活動へ、法人寄付、社員募金+マッチング寄付、飲食物の寄贈など、さまざまなリソースによりご支援いただいています。

（次ページへ続く）

<活動団体（助成事業）の事例 2 団体>

「居場所を失った人への緊急活動応援」の助成活動報告を中心に、赤い羽根福祉基金の助成活動や日々の取り組みを通して実感する、コロナ禍での社会課題と必要な支援などについて伺います。

- ・奥田知志氏（認定 NPO 法人抱樸 理事長／社会福祉法人グリーンコープ 副理事長）
困窮や孤立状態にある方へ、衣食住の提供、自立支援、社会的処遇の改善、地域生活の安定等に関する支援事業を行い、共に生きる社会を創造することを目的としています。
- ・仁藤夢乃氏（一般社団法人 Colabo 代表）
困難を抱える少女たちが暴力を受けたり、搾取労働に行きつかなくてよい社会をめざして、繁華街での居場所提供やアウトリーチ活動、相談、シェルターなどの支援活動を行っています。



【問合せ先】

社会福祉法人 中央共同募金会（担当：基金事業部 青柳・高村）

TEL 03-3581-3846

メール kikin@c.akaihane.or.jp

Web サイト <https://www.akaihane.or.jp>